

平成27年度第6回（第49回）CPDプログラム委員会議事録

日 時:平成28年3月4日(金) 15:00～17:00

場 所:日本工学会会議室

出席者:日比谷啓介委員、上田健之委員、田辺朗委員、保田佳之委員、石原直委員長、
木村軍司幹事、広崎膨太郎会長(オブザーバ)

配布資料

資料6-1 平成27年度第5回 CPD プログラム委員会議事録(案)

資料6-2 日本工学会CPD協議会関係者名簿

- ①協議会会員名簿、②協議会役員・委員名簿、③協議会運営委員会名簿、
- ④CPDプログラム委員会名簿、⑤ECEプログラム委員会名簿

資料6-3 平成27年度第5回CPD運営委員会議事録(案)

資料6-4 日本工学会CPD協議会 平成28年度事業計画(案)および平成27年度事業報告(中間報告)

資料6-5 平成28年度CPD協議会シンポジウムについて

資料6-6 平成28年度CPD協議会シンポジウムのテーマ案について

資料6-7 日本工学会への要望事項(電気電子・情報系CPD協議会で出た要望)

資料6-8 電気学会CPD活動へのアンケート調査結果概要

議事

1. 前回議事録の確認

資料6-1の議事録(案)について、第2項①の「広崎会長のお言葉にある」を、「広崎会長から提案された」に、第2項②の「議論する予定なので、内容をこの議事録に追記する予定。」を、「議論する予定である。」にそれぞれ修正することで承認された。

2. 日本工学会CPD協議会関係の状況報告

資料6-2～資料6-4を基に、日本工学会CPD協議会関連の会員、役員・委員、運営委員会、CPDプログラム委員会、ECEプログラム委員会等の構成、及び現在の状況について説明があった。

3. 平成28年度CPD協議会シンポジウムについて

資料6-5及び資料6-6を基に、平成28年度CPD協議会シンポジウムのテーマ案について、広崎会長から説明があり、これまでにメールで寄せられた意見が紹介され、当委員会メンバーに意見を求められた。3つの案の中、第3の案を修正した「ビジネス創造力強化のための技術者継続教育」が良いという意見が多かった。シンポジウムの構成としては、冒頭に1件の特別講演を行い、その後に各学協会からの講演を行う。特別講演者としてNEDOの古川理事長、学協会からの講演では原子力学会の浜崎氏の名が挙げられた。

4. CPDポータルサイトについて

資料6-3の平成27年度第5回CPD運営委員会議事録(案)の第1項に記述されている、CPD協議会ホームページ更新WGからのメンバー追加要請に関して、木村幹事が担当することになった。

資料6-7に基づき、電気電子・情報系CPD協議会から提出された、ポータルサイトに載らないイベント情報があるので、日本工学会のホームページに、各学協会のイベント情報に直接アクセス可能なバナー作成の要望について説明があり、意見交換した。これについて、木村幹事がCPD協議会ホームページ更新WGで説明することになった。また、これまでのCPDポータルサイトは、当分存続した方が良いという意見が大勢を占めた。ポータルサイトは、利用者が便利と思えるように作ることが重要であるとの意見が出された。

5. ログフロントシステムについて

資料6-7に基づき、電気電子・情報系CPD協議会から提出された、日本工学会でログフロントシステムを構築して、各学協会で見られるようにしてほしい旨の要望について説明があった。これに関して、広崎会長から、次回の全体会議で報告が出来るように、当委員会で早急に検討を進めるよう依頼があった。上田委員から、一緒に開発を進めてきた電子情報通信学会の鈴木忠道氏に委員会への参加要請があり、オブザーバとしての参加を依頼することにした。次回の委員会では、主に、この検討をすることにした。

6. 電気学会CPD活動へのアンケート調査結果概要報告

資料6-8に基づき、2015年7月16日～7月31日に実施された、電気学会CPD活動へのアンケート調査結果の概要が木村幹事から報告された。回答率は約5[%]で、多くの会員は自己研鑽はしているが、CPD登録を必要とする会員は少なく、CPDという言葉を知っている会員は、回答者の1/3しかいない。CPD活動に対するPRが不足しているので、今後PRをもっとすべきであるとのことであった。

これに関し、以下のような意見が出された。学会内での情報発信は必要であるが、企業の人事担当者が殆ど知らないようなので、学協会の活動を理解してもらい、CPDを業績として認め、人事に反映させるよう訴える必要がある。視野を広げるために、他分野のCPDプログラムの受講は役立つので、CPD協議会のメンバーであれば、他学協会の講演等をディスカウント料金で受講できるような制度が出来ないか。電気学会と技術士会の電気電子部会では相互乗り入れをして、互いに会員料金で受講できる。学協会の相互乗り入れに関して、今後検討を進めたい。

7. その他

資料6-1の議事録(案)2. ③項のOUTLOOKに関して、広崎会長から、理解し易いような具体例のサンプルを作成する旨の発言があった。

次回:4月27日(水)又は4月28日(木) 15時から日本工学会会議室で開催予定。

(その後の調整で、次回は4月28日(木)10:00～12:00に開催することが決まりました。)

以上